

しょう ふくしけいかく ぶ 障がい福祉計画の部

だい しょう しょう ふくしけいかく 第4章 障がい福祉計画

1 しょう ふくしけいかく きほんりねん 1 障がい福祉計画の基本理念

(1) しょう しゃ じ こけつてい そんちよう い しけつてい しえん 障がい者の自己決定の尊重と意思決定の支援

きょうせいしゃかい じつげん しょう ひと じ こけつてい そんちよう
共生社会を実現するため、障がいのある人の自己決定を尊重し、
い しけつてい しえん はいりよ しょう ひと じぶん
その意思決定の支援に配慮するとともに、障がいのある人が自分で
す ばしょ えら ひつよう しょうがいふくしきーびす しえん う じりつ
住む場所を選び、必要な障害福祉サービスの支援を受けながら、自立
と社会参加の実現を図っていくことを基本として、サービス提供基盤
せいび すす
の整備を進めます。

(2) いちげんてき しょうがいふくしきーびす じつしどう 一元的な障害福祉サービスの実施等

しょうがいふくしきーびす しょう しゅべつ いちげんてき せいど
障害福祉サービスを、障がい種別にかかわらず一元的な制度のも
ていきよう
とに提供します。

(3) にゅうしょうどう ちいきせいかつ いこう ちいきせいかつ けいぞく しえん しゅうろうしえんどう 入所等から地域生活への移行、地域生活の継続の支援、就労支援等

かだい たいおう さーびす きばん せいび の課題に対応したサービス基盤の整備

しょう しゃ せいかつ しゅうろう ちいきぜんたい ささ たいせい ととの
障がい者の生活や就労を地域全体で支える体制を整えるため、
ちいき ふくしりよく かつよう きばんせいび すす
地域の福祉力も活用して基盤整備を進めます。

2 しょうがいふくし どう きほんてき かんが かつ 2 障害福祉サービス等についての基本的な考え方

(1) ひつよう ほうもんけい さーびす ほしょう どこでも必要な訪問系サービスを保障

(2) きぼう しょう しゃ にちちゅうかつどうけい さーびす ほしょう 希望する障がい者に日中活動系サービスを保障

(3) ぐるーぷほーむ じゅうじつおよ ちいきせいかつしえんきよてんどう せいび グループホーム等の充実及び地域生活支援拠点等の整備

(4) ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこうどう すいしん 福祉施設から一般就労への移行等を推進

(5) かくしゆにーず たいおう そうだんしえんたいせい こうちく 各種ニーズに対応する相談支援体制の構築

(6) しょうがいじつうしよしえんおよ しょうがいじにゅうしよしえん じゅうじつ 障害児通所支援及び障害児入所支援の充実

3 平成29年度の成果目標

(1) 障害福祉サービスに関する目標

目標値の設定にあたっては、国の基本指針や北海道の計画作成指針に掲げる目標に即し、札幌市の実情に応じた目標値を設定していきます。

項目	目標値	備考
入所施設の入所者の地域生活への移行者数	人	平成26年4月から
入所施設の入所者数の減少見込数	人	平成30年3月までの累計
地域生活支援拠点等の整備	箇所	
福祉施設から一般就労への移行者数	人	平成29年度において福祉施設を退所し、一般就労した方の数
就労移行支援事業の利用者数	人	平成29年度の1か月当たりの利用者数
入院中の精神障がい者の地域移行支援の利用者数	人	(札幌市独自に設定する目標)

(2) 障しょうがいのある人ひとに対する理解促進りかいそくしんに関する目かん標もくひょう

(札幌市独自さっぽろしどくじに設定せっていする目もくひょう標)

こゝもく 項目	すうちもくひょう 数値目標	びこう 備考
障 <small>しょう</small> がいのある人 <small>ひと</small> にとっ て地域 <small>ちいき</small> で暮らしやすいま ちであると思 <small>おも</small> う障 <small>しょう</small> がい のある人 <small>ひと</small> の割 <small>わり</small> 合 <small>あい</small>	%	
障 <small>しょう</small> がいのある人 <small>ひと</small> にとっ て地域 <small>ちいき</small> で暮らしやすいま ちであると思 <small>おも</small> う人 <small>ひと</small> の割 <small>わり</small> 合 <small>あい</small>	%	

せいかもくひょう 1 にゅうしょせつ にゅうしょしゃ ちいきせいかつ いこう
成果目標 1 入所施設の入所者の地域生活への移行

にゅうしょせつ ちいきせいかつ いこうしゃすう
◆入所施設から地域生活への移行者数

くに きほんししん
<国の基本指針>

へいせい ねん がつ にち しせつにゅうしょしゃ へいせい ねんどまつ
 平成26年3月31日の施設入所者のうち、平成29年度末におい
 て12%以上の方が地域生活へ移行することをめざす。

ほっかいどう さくせいししん
<北海道の作成指針>

くに おな
 国に同じ。

さっぽろし もくひょう
<札幌市の目標>

へいせい ねん がつ にち しせつにゅうしょしゃ にん へいせい ねんど
 平成26年3月31日の施設入所者2,159人のうち、平成29年度
 末(平成30年3月末)において 人(%)の方が地域生活に移行
 することをめざします。

	ねん がつ H17年10月～ ねん がつ H26年3月	ねん がつ H26年4月～ ねん がつ H30年3月
ちいきいこうしゃすう 地域移行者数 るいけい 累計	にん 594人	にん 人

ほっかいどうしら
 ※北海道調べ

◆^{しせつにゆうしょしやすう げんしょう}施設入所者数の減少

<^{くに きほんししん}国の基本指針>

^{へいせい ねんどまつ しせつにゆうしょしやすう へいせい ねん がつ にち}平成29年度末の施設入所者数が、平成26年3月31日の
^{しせつにゆうしょしやすう いじょうげんしょう}施設入所者数から4%以上減少する。

<^{ほっかいどう さくせいししん}北海道の作成指針>

^{くに おな}国に同じ。

<^{さっぽろし もくひょう}札幌市の目標>

^{へいせい ねんどまつ しせつにゆうしょしやすう へいせい ねん がつ にち しせつ}平成29年度末の施設入所者数が、平成26年3月31日の施設
^{にゆうしょしやすう にん にん やく げんしょう めざ}入所者数2,159人から 人(約 %)減少することを旨し
ます。

	^{ねん がつ} H17年10月	^{ねんどまつ} H25年度末	^{ねんどまつ} H29年度末
^{しせつにゆうしょしやすう} 施設入所者数	2,528 ^{にん} 人	2,159 ^{にん} 人	^{にん} 人
^{げんしょうすう} 減少数 (H26~29)	—	—	^{にん} 人

せいかもくひょう ちいきせいかつしえんきよてんとう せいび
成果目標 2 地域生活支援拠点等の整備

ちいきせいかつしえんきよてんとう せいび
◆地域生活支援拠点等の整備

くに きほんししん
＜国の基本指針＞

ちいきせいかつしえんきよてんとう ちいきせいかつしえんきよてん めんてき たいせい
地域生活支援拠点等（地域生活支援拠点または面的な体制）につ
いて、平成29年度までに各市町村または各圏域に少なくとも一つ
を整備する。

ほっかいどう さくせいししん
＜北海道の作成指針＞

くに おな
国に同じ。

さっぽろし もくひょう
＜札幌市の目標＞

せいかもくひょう 3 ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこう
成果目標 3 福祉施設から一般就労への移行

ふくししせつ いっぱんしゅうろう いこうしゃすう
◆福祉施設から一般就労への移行者数

くに きほんししん
<国の基本指針>

へいせい ねんど において、ふくししせつ りようしゃ いっぱんしゅうろう
平成29年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への
 いこうしゃすう へいせい ねんど いこうじっせき ばいじょう
移行者数を、平成24年度の移行実績の2倍以上とする。

ほっかいどう さくせいししん
<北海道の作成指針>

くに おな
 国に同じ。

さっぽろし もくひょう
<札幌市の目標>

へいせい ねんど において、ふくししせつ りようしゃ いっぱんしゅうろう
平成29年度において、福祉施設の利用者のうち一般就労への
 いこうしゃすう へいせい ねんど いこうじっせき にん やく ばい にん
移行者数を、平成24年度の移行実績297人の約 倍（ 人）と
することを目指します。

	ねんどまつ H24年度末	ねんどまつ H25年度末	ねんどまつ H29年度末
いっぱんしゅうろう 一般就労への いこうしゃすう 移行者数	297人 にん	405人 にん	人 にん

ほっかいどうしら
 ※北海道調べ

しゅうろらいこうしえんじぎょう りようしゃすう
◆就労移行支援事業の利用者数

くに きほんししん
<国の基本指針>

へいせい ねんどまつ しゅうろらいこうしえんじぎょう りようしゃすう へいせい
 平成29年度末における就労移行支援事業の利用者数が、平成
 ねんどまつ わりいじょうそうか
 25年度末の6割以上増加する。

ほっかいどう さくせいししん
<北海道の作成指針>

くに おな
 国に同じ。

さっぽろし もくひょう
<札幌市の目標>

へいせい ねんどまつ しゅうろらいこうしえんじぎょう りようしゃすう へいせい
 平成29年度末における就労移行支援事業の利用者数が、平成
 ねんどまつ にん にん しょうか めざ
 25年度末の630人から、人（%増加）とすることをめざ
 ます。

	ねんどまつ H25年度末	ねんどまつ H29年度末
しゅうろらいこうしえんじぎょう りようしゃすう 就労移行支援事業の利用者数	630人	人
しょうかわりあい (増加割合)		(%)

成果目標 4 入院中の精神障がい者の地域移行支援の利用者数

入院中の精神障がい者の地域移行支援について、平成29年度の利用者数を 人とすることを目指します。

	H25年度	H29年度
入院中の精神障がい者の地域移行支援の利用者数（年間の実利用者数）	20人	人

成果目標 5 障がいのある人に対する理解促進

障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がいのある人の割合が、平成29年度末において %となることを目指します。

また、障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う人の割合が、平成29年度末において %となることを目指します。

	H25年度	H29年度
障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がいのある人の割合	53.4%	%
障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う人の割合	22.7%	%

※札幌市が実施するアンケート調査

4 訪問系サービス量の見込み

地域で生活していくために必要な訪問系サービスを、障がいの種別にかかわらず充実していきます。

※ 訪問系サービスの見込量は、各年度における1か月あたりの総量を見込んだものであり、単位の考え方は次のとおりです。

○利用人数：月間の利用人数（実人数）

○時間／月：月間のサービス提供時間数

(1) 居宅介護（ホームヘルプサービス） 【介護給付】

ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			
時間／月			

(2) 重度訪問介護 【介護給付】

重度の肢体不自由または重度の知的・精神障がいにより常時介護を必要とする方に、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動中の介護などを総合的にを行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			
時間／月			

(3) ^{じゅうどしやうがいしゃとうほうかつしえん} **重度障害者等包括支援** ^{かいごきゆうふ} **【介護給付】**

^{じょうじかいご ひつよう} 常時介護を必要とする方^{かた}であって、^{かいご ひつよう ていど いちじる} 介護の必要の程度が **著しく高**^{たか}
^{かた たい きょたくかいご ふくすう さーびす ほうかつてき} い方^{かた}に対し、居宅介護などの複数のサービスを包括的に行います。

^{たんい} 単位	^{ねんど} H27年度	^{ねんど} H28年度	^{ねんど} H29年度
^{りょうにんすう} 利用人数			
^{じかん つき} 時間／月			

(4) ^{こうどうえんご} **行動援護** ^{かいごきゆうふ} **【介護給付】**

^{ちてきまた せいしんしやう} 知的又は精神障がいにより^{こうどうじやういちじる} 行動上 **著しい困難**^{こんなん}がある方^{かた たい}に対し、
^{こうどう さい しやう え きげん かいひ} 行動する際に生じ得る危険を回避するために必要な援護、^{ひつよう えんご がいしゅつじ} 外出時に
^{いどうちゆう かいご おこな} おける移動中の介護などを行います。

^{たんい} 単位	^{ねんど} H27年度	^{ねんど} H28年度	^{ねんど} H29年度
^{りょうにんすう} 利用人数			
^{じかん つき} 時間／月			

(5) ^{どうこうえんご} **同行援護** ^{かいごきゆうふ} **【介護給付】**

^{しかくしやう} 視覚障がいにより、^{いどう いちじる} 移動に **著しい困難**^{こんなん}がある方^{かた たい}に対し、^{がいしゅつじ} 外出時に
^{どうこう いどう ひつよう じやうほう ていきやう} 同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、^{いどう えんご} 移動の援護など
^{おこな} を行います。

^{たんい} 単位	^{ねんど} H27年度	^{ねんど} H28年度	^{ねんど} H29年度
^{りょうにんすう} 利用人数			
^{じかん つき} 時間／月			

5 日中活動系サービス量の見込み

障がいの種別にかかわらず、地域でいきいきと生活することができるよう、日中活動系サービスを充実していきます。

※ 日中活動系サービスの見込量は、各年度における1か月あたりの総量を見込んだものであり、単位の考え方は次のとおりです。

○利用人数：月間の利用人数（実人数）

○人日／月：「月間の利用人数」×「1人1か月あたりの平均利用日数」で算出されるサービス量

(1) 療養介護 【介護給付】

医療と常時の介護を必要とする方のうち、次のいずれかに該当する方に、身体能力・日常生活能力の維持・向上のため、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活上の支援を行います。

◆筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者等気管切開を伴う人工呼吸器による呼吸管理を行っており、障害支援区分6の方

◆筋ジストロフィー患者、重症心身障害者であって、障害支援区分5以上の方

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			

(2) 生活介護【介護給付】

常時介護を必要とする方に対し、主として昼間において、
 障害者支援施設などで入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、
 創作的活動又は生産活動の機会を提供します。

たんい 単位	H27年度	H28年度	H29年度
りょうにんすう 利用人数			
にんにち つき 人日/月			

(3) 自立訓練（機能訓練）【訓練等給付】

身体障がいのある方を対象に、身体機能・生活能力の維持・
 向上等のため、一定期間、理学療法や作業療法などの身体的
 リハビリテーションや歩行訓練、コミュニケーション、家事などの
 訓練を実施します。

たんい 単位	H27年度	H28年度	H29年度
りょうにんすう 利用人数			
にんにち つき 人日/月			

(4) 自立訓練（生活訓練） 【訓練等給付】

知的又は精神障がいのある方を対象に、生活能力の維持・向上などのため、一定期間、食事や家事などの日常生活能力の向上のための支援を実施します。

たんい 単位	H27年度	H28年度	H29年度
りょうにんすう 利用人数			
にんにち つき 人日/月			

(5) 就労移行支援 【訓練等給付】

一般企業などでの就労を希望する65歳未満の方に、就労に必要な知識及び能力の向上のため、一定期間、事業所内や企業における生産活動などの機会の提供を行うとともに、適性に合った職場探しや就労後の職場定着のための支援を行います。

たんい 単位	H27年度	H28年度	H29年度
りょうにんすう 利用人数			
にんにち つき 人日/月			

(6) 就労継続支援（A型） 【訓練等給付】

一般就労が困難な65歳未満の方に対し、雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、一般就労への移行に向けた支援を行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			
人日/月			

(7) 就労継続支援（B型） 【訓練等給付】

一般就労が困難な方に対し、雇用契約を結ばずに生産活動等の機会の提供を行うとともに、就労に関わる支援を行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			
人日/月			

(8) 短期入所（ショートステイ） 【介護給付】

介護する方が病気の場合などに、施設において短期間、入浴、排せつ、食事の介護などの日常生活上の支援を行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			
人日/月			

6 居住系サービス量の見込み

地域における居住の場としてのグループホームについて、社会福祉法人などに必要な支援を行い充実を図るとともに、地域移行支援・地域定着支援などの推進と併せ、入所施設や病院から地域生活への移行を進めます。

※ 居住系サービスの見込量は、各年度における1か月あたりの総量を見込んだものであり、単位の考え方は次のとおりです。

○利用人数：月間の利用人数（実人数）

(1) 共同生活援助【訓練等給付】

主として夜間において、共同生活住居で入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言、就労先その他関係機関との連絡、その他の必要な日常生活上の支援を行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			
定員数			

(2) ^{しせつにゆうしょしえん}施設入所支援 ^{かいごきゆうふ}【介護給付】

^{おも}主に^{やかん}夜間において、^{しょうがいしゃしえんしせつ}障害者支援施設で^{にゅうよく}入浴、^{はい}排せつ、^{しょくじ}食事の^{かいご}介護
^{おこな}などを行います。

^{たんい} 単位	^{ねんど} H27年度	^{ねんど} H28年度	^{ねんど} H29年度
^{りょうにんすう} 利用人数			

(3) ^{しゅくはくがたじりつくんれん}宿泊型自立訓練 ^{くんれんとうきゆうふ}【訓練等給付】

^{せいかつのうりよく}生活能力の^{いじ}維持・^{こうじょう}向上などのため、^{いっていきかん}一定期間、^{きょしつ}居室^たその他の^{せつび}設備
^{ていきょう}を提供し、^{かじ}家事などの^{にちじょうせいかつのうりよく}日常生活能力の^{こうじょう}向上のための^{しえん}支援^{じっし}を実施
 します。

^{たんい} 単位	^{ねんど} H27年度	^{ねんど} H28年度	^{ねんど} H29年度
^{りょうにんすう} 利用人数			
^{にんにち} 人日/ ^{つき} 月			

7 相談支援サービス量の見込み

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援サービスを充実していきます。

※ 相談支援サービスの見込量は、各年度における1か月あたりの総量を見込んだものであり、単位の考え方は次のとおりです。

○利用人数：月間の利用人数（実人数）

(1) 計画相談支援

サービスの支給決定におけるサービス等利用計画案を作成し、サービス事業者等と連絡調整を行うとともに、サービス等の利用状況の検証を行い、計画の見直しなどの支援を行います。

	単位	H27年度	H28年度	H29年度
計画相談支援	利用人数			

(2) 地域相談支援

住宅の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談や、常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態等に相談などの支援を行います。

	単位	H27年度	H28年度	H29年度
地域移行支援	利用人数			
地域定着支援	利用人数			

8 障害児支援サービス量の見込み

障がいのある子どもの発達を支援するため、児童福祉法に基づく障害児支援を充実していきます。

※ 障害児支援の見込量は、各年度における1か月あたりの総量を見込んだものであり、単位の考え方は次のとおりです。

○利用人数：月間の利用人数（実人数）

○人日／月：「月間の利用人数」×「1人1か月あたりの平均利用日数」で算出されるサービス量

(1) 児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			
人日／月			

(2) 医療型児童発達支援

日常生活における基本的な動作の指導、理学療法等の機能訓練などを行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			
人日／月			

ほうかごとうでいさーびす
(3) 放課後等デイサービス

せいかつのうりよく こうじょう ひつよう くんれん ちいき こうりゆう おこな
 生活能力の向上のために必要な訓練、地域との交流などを行います。

たんい 単位	ねんど H27年度	ねんど H28年度	ねんど H29年度
りょうにんすう 利用人数			
にんにち つき 人日/月			

ほいくしょとうほうもんしえん
(4) 保育所等訪問支援

せんもんしょくいん ほいくしょ ほうもん しゅうだん せいかつ ひつよう くんれん
 専門職員が保育所などを訪問し、集団での生活に必要な訓練や
 すたっふ じよげん おこな
 スタッフへの助言などを行います。

たんい 単位	ねんど H27年度	ねんど H28年度	ねんど H29年度
りょうにんすう 利用人数			
にんにち つき 人日/月			

しょうがいじそудんしえん
(5) 障害児相談支援

しょうがいじつうしょしえん しきゅうけつてい しょうがいじしえんりょうけいかくあん さくせい
 障害児通所支援の支給決定における障害児支援利用計画案を作成
 しょうがいじつうしょしえんことぎょうしゃとう れんらくちょうせい おこな さーびす
 し、障害児通所支援事業者等と連絡調整を行うとともに、サービス
 とう りょうじょうきょう けんしょう おこな けいかく みなお しえん おこな
 等の利用状況の検証を行い、計画の見直しなどの支援を行います。

	たんい 単位	ねんど H27年度	ねんど H28年度	ねんど H29年度
しょうがいじそудんしえん 障害児相談支援	りょうにんすう 利用人数			

ふくしがたしょうがいじにゆうしょしえん
(6) 福祉型障害児入所支援

しせつ にゆうしょ にちじょうせいかつのうりよく ちしき ぎのう こうじょう
 施設に入所のうえ、日常生活能力や知識・技能の向上のための

くんれん おこな
 訓練などを行います。

たんい 単位	ねんど H27年度	ねんど H28年度	ねんど H29年度
りょうにんすう 利用人数			
にんにち つき 人日/月			

いりょうがたしょうがいじにゆうしょしえん
(7) 医療型障害児入所支援

しせつ にゆうしょ にちじょうせいかつのうりよく ちしき ぎのう こうじょう
 施設に入所のうえ、日常生活能力や知識・技能の向上のための

くんれん ちりょう おこな
 訓練のほか、治療などを行います。

たんい 単位	ねんど H27年度	ねんど H28年度	ねんど H29年度
りょうにんすう 利用人数			
にんにち つき 人日/月			

9 地域生活支援事業のサービス量の見込み

(1) 概要

地域生活支援事業は、障がいのある方がその持っている能力や適性に応じ自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、住民に最も身近な市町村などを中心として、地域で生活する障がいのある方のニーズを踏まえ、地域の実情に応じた事業形態で市町村や都道府県が実施するものです。

(2) 実施主体

地域生活支援事業は、市町村が行う市町村地域生活支援事業と、都道府県が行う都道府県地域生活支援事業とに分かれます。

札幌市では市町村地域生活支援事業を実施します。事業によっては、事業の全部または一部を団体などに委託して実施します。

(3) 札幌市における地域生活支援事業のメニュー

地域生活支援事業では、すべての市町村が実施する「必須事業」と、市町村各々の判断により行う「任意事業」があります。

札幌市では、これまでの事業実施状況やサービス提供体制を勘案し、以下の事業を展開していきます。

ちいきせいかつしえんじぎょういちらん ひつすじぎょう
地域生活支援事業一覧 (必須事業)

そうだんしえんじぎょう 相談支援事業	しょう しゃ そうだんしえんじぎょう 障がい者相談支援事業 きかんそうだんしえんせんたー 基幹相談支援センター じゅうたくにゅうきよとうしえんじぎょう 住宅入居等支援事業
せいねんこうけんせいどりようしえんじぎょう 成年後見制度利用支援事業	
いしそつうしえんじぎょう 意思疎通支援事業	しゅわつうやくしゃはけんじぎょう 手話通訳者派遣事業 ようやくひっきしゃはけんじぎょう 要約筆記者派遣事業 しゅわつうやくせっちじぎょう 手話通訳設置事業
にちじょうせいかつようぐきゅうふじぎょう 日常生活用具給付事業	
しゅわほうしいんようせいけんしゅうじぎょう 手話奉仕員養成研修事業	
いどうしえんじぎょう 移動支援事業	こべつしえんがた 個別支援型 しゃりょういそがた 車両移送型
ちいきかつどうしえんせんたーきものきょうかじぎょう 地域活動支援センター機能強化事業	
はったつしょうがいしゃしえんせんたーうんえいじぎょう 発達障害者支援センター運営事業	
しょうがいじとりのりょういくしえんじぎょう 障害児等療育支援事業	
せんもんせい たか いしそつうしえん 専門性の高い意思疎通支援 おこなうもの ようせいけんしゅうじぎょう を行う者の養成研修事業	しゅわつうやくしゃようせいけんしゅうじぎょう 手話通訳者養成研修事業 ようやくひっきしゃようせいけんしゅうじぎょう 要約筆記者養成研修事業
せんもんせい たか いしそつうしえん 専門性の高い意思疎通支援 おこなうもの はけんじぎょう を行う者の派遣事業	もう しゃむ つうやく かいじょいんはけんじぎょう 盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

ちいきせいかつしえんじぎょういちらん にんいじぎょう
地域生活支援事業一覧（任意事業）

ふくしほーむじぎょう 福祉ホーム事業	
しんたいしょうがいしゃにゆうよくさーびすじぎょう 身体障害者入浴サービス事業	
きゅうしんたいしょうがいしゃじりつしえんじぎょうりようしゃしえんじぎょう 旧身体障害者自立支援事業利用者支援事業	
せいかつしえんじぎょう 生活支援事業	せいかつくんれんどう 生活訓練等 じぎょう 事業
	ちようかくしょう しゃしゃかいせいかつきょうしつかいさいじぎょう 聴覚障がい者社会生活教室開催事業
	おすとめいとしゃかいてきおうくんれんじぎょう オストメイト社会適応訓練事業
	おんせいきのうくんれんじぎょう 音声機能訓練事業
	てんじそくじじょうほうねっとわーくじぎょう 点字即時情報ネットワーク事業
	ちゅうとしつめいしゃしゃかいてきおうくんれんじぎょう 中途失明者社会適応訓練事業
にっちゅういちじしえんじぎょう 日中一時支援事業	
しゃかいさんか 社会参加 しえん 支援	すほーつ れくりえーしょんきょうしつかいさいとうじぎょう スポーツ・レクリエーション教室開催等事業
	てんじ こえ こうほうとうはっこうじぎょう 点字・声の広報等発行事業
	ほうしいんようせい 奉仕員養成 けんしゅうじぎょう 研修事業
	てんやくほうしいんようせいじぎょう 点訳奉仕員養成事業
	ろうどくほうしいんようせいじぎょう 朗読奉仕員養成事業
	じどうしゃうんてんめんきよしゅとく かいぞうほじょじぎょう 自動車運転免許取得・改造補助事業
	た しゃかい その他社会
	しょう しゃ そうだんうんえいじぎょう 障がい者あんしん相談運営事業
しょう しゃあいていさぼーとせんたーうんえいじぎょう 障がい者ITサポートセンター運営事業	
ざいたくじゅうどうしょう しゃ じ しみ さーびすじぎょう 在宅重度障がい者（児）紙おむつサービス事業	
しんたいしょうがいしゃふくしてんわせっちじぎょう 身体障害者福祉電話設置事業	

※ ちいきせいかつしえんじぎょう サービスすみこみりょう かか たんい かんが かの たつぎ
 地域生活支援事業のサービス見込量に係る単位の考え方は次のとおりです。

りょうにんすう げっかん りょうにんすう じつにんすう
 ○利用人数：月間の利用人数（実人数）

の りょうにんすう ねんかん そうりようけんすう
 ○延べ利用人数：年間の総利用件数

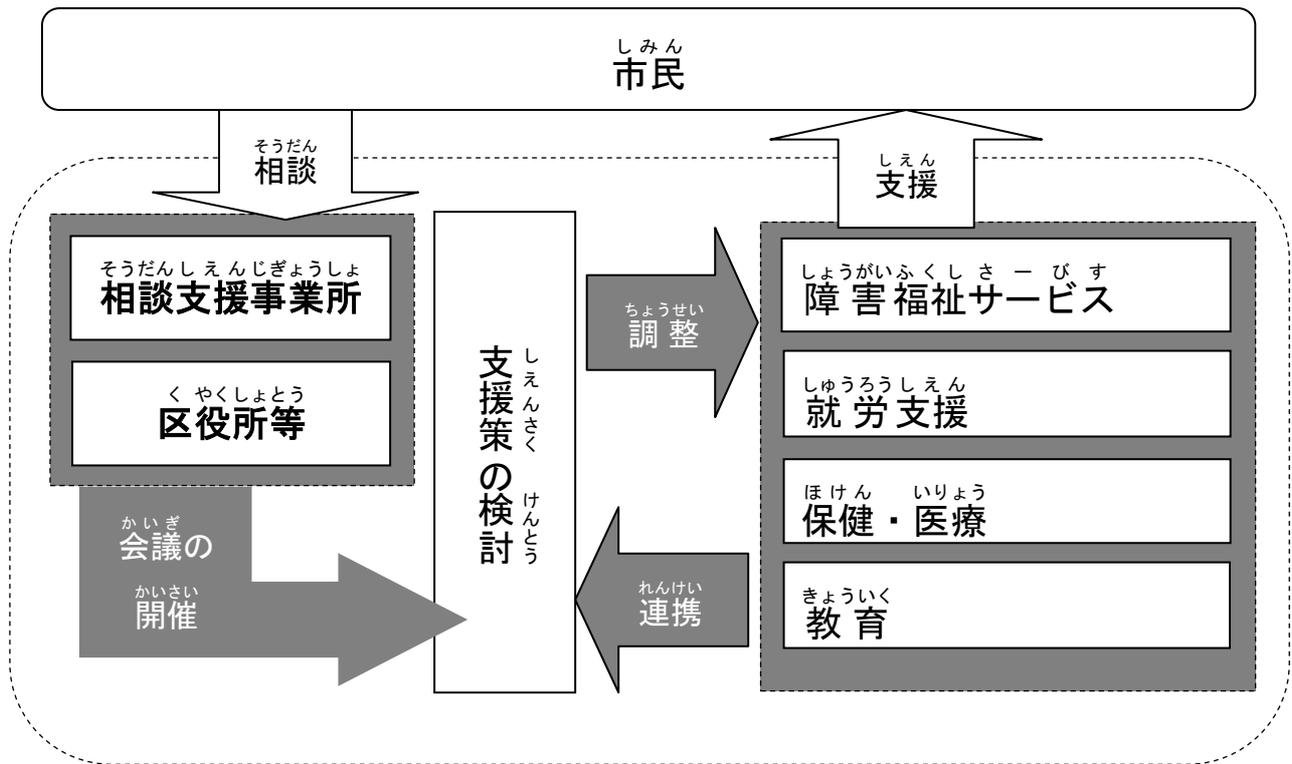
の りようじかん ねんかん そうりようじかん
 ○延べ利用時間：年間の総利用時間

ア **相談支援事業**

しょう かの ちいき じりつ にちじょうせいかつ しゃかいせいかつ おく
 障がいのある方が地域で自立した日常生活や社会生活を送るため
 ほんにん かぞく かいごしゃ そうだん おう ひつよう じょうほうていきょう けんり
 に、本人・家族・介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供や権利
 ようご ひつよう えんじょ おこな
 擁護のために必要な援助を行います。

	たんい 単位	H27年度 ねんど	H28年度 ねんど	H29年度 ねんど
しょう しゃそうだんしえんじぎょう 障がい者相談支援事業	かしょすう 箇所数			
きかんそうだんしえんせんたー 基幹相談支援センター	せっち うむ 設置の有無			
じゅうたくにゆうきょとうしえんじぎょう 住宅入居等支援事業	じっし うむ 実施の有無			

そうだんしえん い めー じ
相談支援イメージ



せいねんこうけんせいどりようしえんじぎょう
イ 成年後見制度利用支援事業

せいねんこうけんせいど りよう ひつよう みと ほんにん しんぞくとう もうした
成年後見制度の利用が必要と認められ、本人や親族等による申立てが
きたい ちてきしょう しゃ せいしんしょう しゃ しちょう もうした
期待できない知的障がい者、精神障がい者について、市長が申立てを
おこな ひよう ふたん せいねんこうけんせいど りよう しえん
行い、費用を負担して成年後見制度の利用を支援します。

たんい 単位	H27年度 ねんど	H28年度 ねんど	H29年度 ねんど
じっし う む 実施の有無			
じつりようにんずう 実利用人数			

ウ 意思疎通支援事業

聴覚、言語機能、音声機能、視覚その他の障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある障がい者などに、手話通訳や要約筆記を行う方を派遣し、意思疎通を支援します。

	単位	H27年度	H28年度	H29年度
手話通訳者	利用人数			
派遣事業	延べ派遣人数			
要約筆記奉仕員	利用人数			
派遣事業	延べ派遣人数			
手話通訳者 設置事業	通訳者数 (うち専従通訳者数)	()	()	()

※ 延べ派遣人数：年間の総派遣件数

エ 日常生活用具給付事業

障がいのある方に、自立生活支援用具等の給付を行います。

	単位	H27年度	H28年度	H29年度
介護・訓練支援用具	件数			
自立生活支援用具				
在宅療養等支援用具				
情報・意思疎通支援用具				
排泄管理支援用具				
居宅生活動作補助用具(住宅改修費)				

※ 件数：年間の総給付件数

オ 手話奉仕員養成研修事業

しゅわほうしいういんようせいけんしゅうじぎょう

ちょうかくしょう しゃどう いしそつうしえん ひつよう しゅわほうしいういん ようせい
聴覚障がい者等の意思疎通支援に必要な手話奉仕員を養成します。

たんい 単位	H27年度 ねんど	H28年度 ねんど	H29年度 ねんど
りょうにんすう 利用人数			
の りょうにんすう 延べ利用人数			

カ 移動支援事業

いどうしえんじぎょう

やがい いどう こんなん しょう しゃ がいしゆつ しえん おこな
屋外での移動が困難な障がい者などに、外出のための支援を行います。

	たんい 単位	H27年度 ねんど	H28年度 ねんど	H29年度 ねんど
こべつしえんがた 個別支援型	かしょすう 箇所数			
	りょうにんすう 利用人数			
	の りょうじかん 延べ利用時間			
しゃりょういそうがた 車両移送型	の りょうにんすう 延べ利用人数			

キ 地域活動支援センター機能強化事業

ちいきかつどうしえんせんたーきのかうきょうかじぎょう

そうさくてきかつどう せいさんかつどう きかい ていきょう しゃかい こうりゅう
創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流などを
おこな ちいきかつどうしえんせんたー たい うんえいひほじょ おこな しょう
行う地域活動支援センターに対する運営費補助を行い、障がいのある
かた ちいきせいかつ しえん そくしん
方の地域生活の支援を促進します。

	たんい 単位	H27年度 ねんど	H28年度 ねんど	H29年度 ねんど
きそてきじぎょう 基礎的事業	かしょすう 箇所数			
	りょうにんすう 利用人数			
きのうきょうかじぎょう 機能強化事業	かしょすう 箇所数			

ク **発達障害者支援センター運営事業**

発達障害者支援センターを拠点として、自閉症など発達の
ある方やその家族に対する支援を総合的に行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
箇所数			
利用人数			

ケ **障がい児等療育支援事業**

障がいのある方やその家族の地域生活を支えるため、専門の職員が、
療育指導や療育支援を行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
箇所数			

コ **手話通訳者・要約筆記者養成研修事業**

専門性の高い意思疎通支援を行う手話通訳者・要約筆記者を養成し
ます。

	単位	H27年度	H28年度	H29年度
手話通訳者養成 研修事業	人数 の 延べ人数			
要約筆記者養成 研修事業	人数 の 延べ人数			

サ 盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

盲ろう者の自立と社会参加を図るため、コミュニケーション及び移動の支援を行う盲ろう者向け通訳・介助員を派遣します。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			
の延べ派遣人数			

シ 福祉ホーム事業

現に住居を求めている障がいのある方に対して、低額な料金で居室その他の設備を利用させるとともに、日常生活に必要な支援を行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
定員			

ス 身体障害者入浴サービス事業

訪問などにより入浴サービスを提供し、身体障がい者の身体の清潔の保持、心身機能の維持などを図ります。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			
の延べ利用人数			

セ 旧身体障害者自立支援事業利用支援事業

身体障害者自立支援事業（身体障がい者向け公営住宅に居住している重度の身体障がい者に介助サービスを提供する事業。自立支援給付への移行に伴い平成20年3月31日事業終了）を利用していただく方に対し、自立支援給付のサービスにない駐車場の除雪、庭の除草及び共用部分の清掃の支援を行います。

単位	H27年度	H28年度	H29年度
利用人数			

ソ 生活訓練等事業

障がいのある方などに対して日常生活上必要な訓練などを行います。

	単位	H27年度	H28年度	H29年度
聴覚障がい者社会生活教室開催事業	の延べ利用人数			
オストメイト社会適応訓練事業	の延べ利用人数			
音声機能訓練事業	の延べ利用人数			
点字即時情報ネットワーク事業	の延べ利用人数			
中途失明者社会適応訓練事業	の延べ利用人数			

タ ^{にっちゅういちじしえんじぎょう} 日中一時支援事業

^{しょう}障 ^{かた}がいのある方などの家族の ^{かそく}就 ^{しゅうろうしえんおよ}労支援及び ^{にちじょうてき}日常的に ^{かいご}介護している
^{かそく}家族の ^{いちじてき}一時的な ^{きゅうそく}休息を ^{はか}図るために、 ^{しょう}障 ^{かたとう}がいのある方等を ^{いちじてき}一時的に
^{あす}預 ^{かいご}かり介護します。

^{たんい} 単位	^{ねんど} H27年度	^{ねんど} H28年度	^{ねんど} H29年度
^{りようにんすう} 利用人数			
^の ^{りようにんすう} 延べ利用人数			
^{かしょすう} 箇所数			

チ ^{すぽーつ れくりえーしょんきょうしつかいさいとうじぎょう} スポーツ・レクリエーション教室開催等事業

^{すぽーつ れくりえーしょん}スポーツ・レクリエーション活動を通じて、 ^{しょう}障 ^{かた}がいのある方の ^{たいりょく}体力
^{ぞうきょう}増強、 ^{こうりゅう}交流、 ^{よか}余暇などに ^し資するため及び ^{およ}障 ^{しょう}がいの者 ^{しや}スポーツを ^{すぽーつ}普及す
^{かくしゆ}るため、 ^{すぽーつ れくりえーしょんきょうしつかいさい}各種スポーツ・レクリエーション教室を開催します。

^{たんい} 単位	^{ねんど} H27年度	^{ねんど} H28年度	^{ねんど} H29年度
^の ^{りようにんすう} 延べ利用人数			

ツ ^{てんじ こえ こうほうとうはっこうじぎょう} 点字・声の広報等発行事業

^{もじ}文字による ^{じょうほうにゆうしゆ}情報 ^{こんなん}入手が ^{しょう}困難な ^{かた}障 ^{てんやく}がいのある方のために、 ^{てんやく}点訳、
^{おんやく}音訳その他 ^{たしょう}障 ^{かた}がいのある方に ^わ分かりやすい方法により、 ^{ほうほう}広報 ^{こうほう}さっぽろ
^{じょうほう}の情報など ^{しょう}障 ^{かた}がいのある方が ^{ちいきせいかつ}地域生活をするうえで ^{ひつようど}必要度の ^{たか}高い
^{じょうほう}情報を ^{ていきてき}定期的に ^{ていきょう}提供します。

^{たんい} 単位	^{ねんど} H27年度	^{ねんど} H28年度	^{ねんど} H29年度
^{りようにんすう} 利用人数			

テ **奉仕員養成研修事業**

ちょうかくしょう しゃとう い し そつう しえん ひつよう てんやくほうしいるん ろうどくほうしいるん
 聴覚障がい者等の意思疎通支援に必要な点訳奉仕員、朗読奉仕員
 ようせい
 を養成します。

	たんい 単位	H27年度 ^{ねんど}	H28年度 ^{ねんど}	H29年度 ^{ねんど}
てんやくほうしいるんようせいじぎょう 点訳奉仕員養成事業	にんすう 人数			
	の にんすう 延べ人数			
ろうどくほうしいるんようせいじぎょう 朗読奉仕員養成事業	にんすう 人数			
	の にんすう 延べ人数			

※ ^{にんすう ようせいじぎょう} 人数：養成事業の受講人数（実人数）
^{の にんすう ようせいじぎょう ねんかんそうじゅこうけんすう}
 延べ人数：養成事業の年間総受講件数

ト **自動車運転訓練費・改造補助事業**

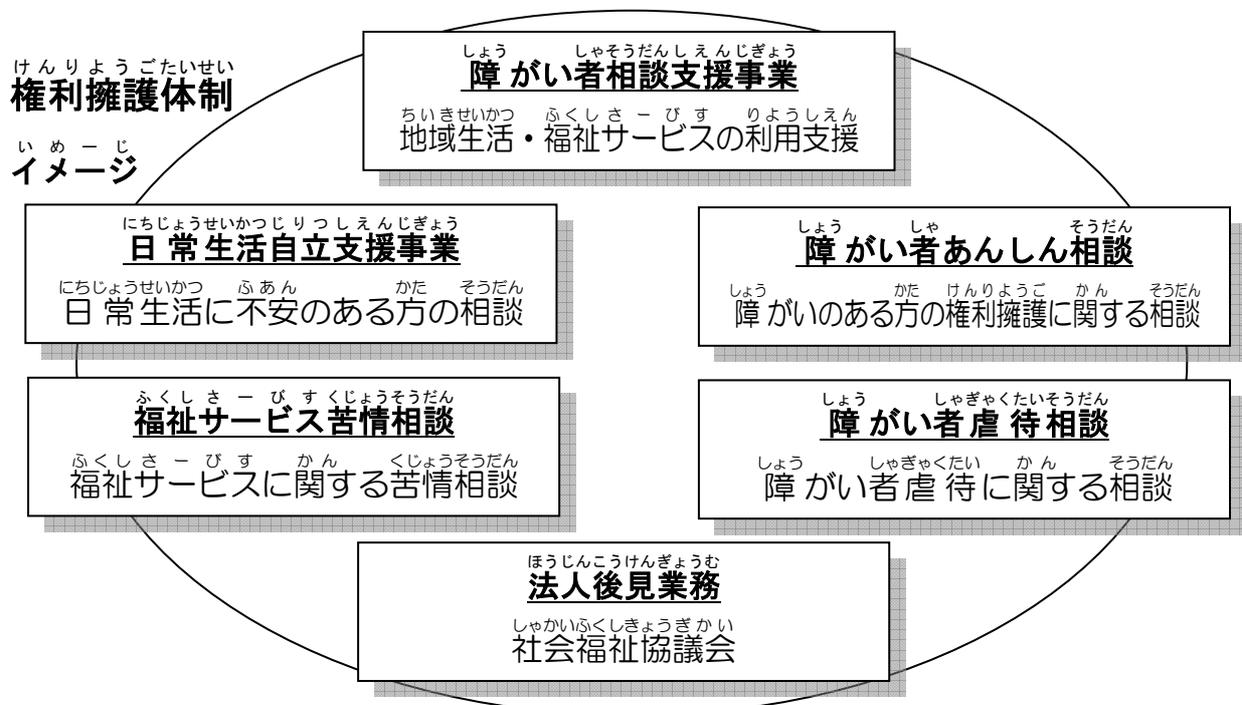
じどうしゃうんでんくんれんひ かいぞうほじょじぎょう
 自動車運転免許の取得及び自動車の改造に要する費用の一部を助成
 します。

たんい 単位	H27年度 ^{ねんど}	H28年度 ^{ねんど}	H29年度 ^{ねんど}
りようにんすう 利用人数			

ナ 障がい者あんしん相談運営事業

障がいのある方の権利擁護に係る相談等に応じるため、常設相談窓口を設置し、専門的な相談に応じるほか、専門機関への情報提供を行います。

たんい 単位	ねんど H27年度	ねんど H28年度	ねんど H29年度
かしょう 箇所数			



ニ 障がい者ITサポートセンター運営事業

障がいのある方の情報通信技術の利用機会や活用能力の向上を図るため、障がい者ITサポートセンターを拠点として、ITを活用した障がいのある方の社会参加促進を図ります。

たんい 単位	H27年度	H28年度	H29年度
かしょすう 箇所数			

ヌ 在宅重度障がい者（児）紙おむつサービス事業

感覚マヒなどにより常時おむつを使用している在宅の重度障がい者（児）に紙おむつを支給します。

たんい 単位	H27年度	H28年度	H29年度
りょうにんすう 利用人数			
のりょうにんすう 延べ利用人数			

ネ 身体障害者福祉電話設置事業

難聴者または外出困難な在宅重度身体障がい者に対し電話を貸与し、コミュニケーション及び緊急連絡の手段を確保します。

たんい 単位	H27年度	H28年度	H29年度
りょうにんすう 利用人数			

※ 現在、新規貸与は実施していない。

10 サービス見込量等確保のための方策

障害福祉サービス等についての基本的な考え方（73ページ）に基づき、以下の視点に立って、必要なサービス等を提供できるようなサービス基盤を整備するとともに、質の向上に努めます。

- ◆ 障がい特性に応じた質の高いサービスを障がい種別にかかわらず提供するため、事業者の参入を促進し、引き続きサービス基盤の整備に努めていきます。
- ◆ それぞれのニーズに応じたきめ細かな支援を提供するため、先駆的な取組の調査・研究をし、事業者への周知・働きかけを行っていきます。
- ◆ 円滑なサービス提供を確保するため、事業者への必要な情報提供や事業者間の連携の強化を図っていきます。
- ◆ サービス提供に係る技術的な支援や質の向上を図ることを目的とした研修を実施します。
- ◆ 地域での居住の場となるグループホームについて、事業者と協働し、設置を推進していきます。
- ◆ 地域での自立した生活を支えるため、相談支援事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付事業など、地域生活支援事業の多彩なメニューを引き続き実施していきます。

第5章 障がい者プランの評価・見直し

1 PDCAサイクルについて

PDCAサイクルとは、業務の改善などに広く活用されているマネジメント手法で、「計画(Plan)」「実行(Do)」「評価(Check)」「改善(Act)」の順に実施していくものです。

障がい者プランについても、このPDCAサイクルにより、評価・見直しを行います。

2 PDCAサイクルの実施

(1) 計画(Plan)

国の計画や基本指針に基づき、関係者や市民のみなさまのご意見をお聴きしながら障がい者プランを策定します。

(2) 実行(Do)

作成したプランを市民のみなさまに周知するとともに、目標等の達成に向けて施策を推進します。

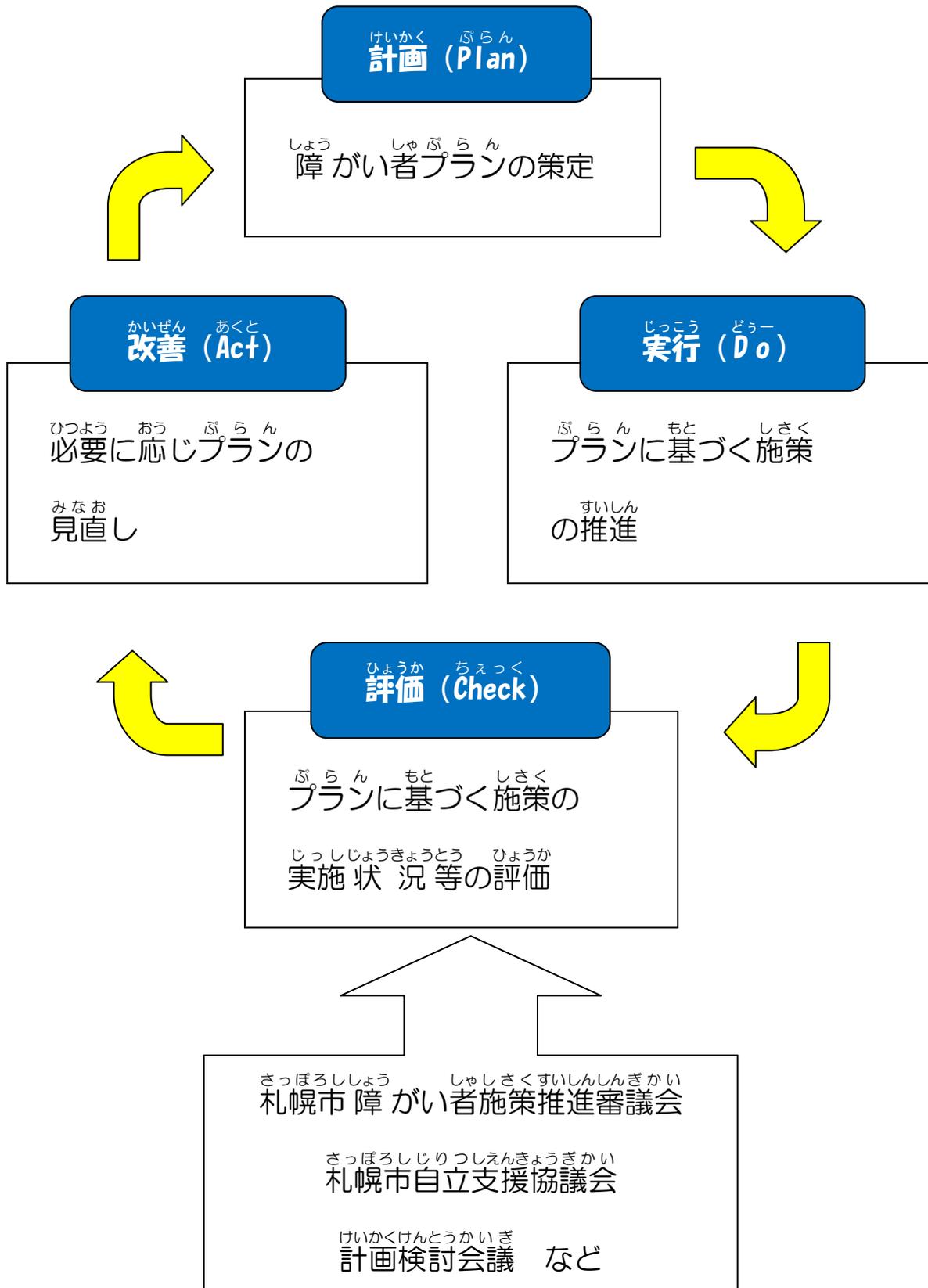
(3) 評価(Check)

プランに基づく施策の実績や達成状況等について、札幌市施策推進審議会、札幌市自立支援協議会(及び計画検討会議)等の関係機関に報告し中間評価を行います。

(4) 改善(Act)

中間評価の結果等を受け、必要に応じ、施策の見直し・新規施策の追加など計画の見直しを行います。

びーでいーしーえーさーいーくーるーいーめーじー
P D C A サイクルのイメージ



第6章 障がい者プランの改定経過

1 改定体制

市役所内部での検討のほか、障がい当事者や家族の方、障がい者団体の方、福祉関係者、有識者等で構成する「札幌市の障がい福祉施策に係る計画検討会議」を設置し、さまざまなご意見を伺ってきました。

また、札幌市障がい者施策推進審議会、札幌市自立支援協議会等の附属機関からもご意見を伺ってきました。

※ 「札幌市の障がい福祉施策に係る計画検討会議」の委員名簿は112ページに掲載しております。

2 障がい児者実態等調査

計画の改定や障がい福祉施策の検討のための基礎資料等とすることを目的に、障がい児・者の生活や活動状況、障害福祉サービス等の利用状況などについてアンケート調査を実施しました。

アンケート調査の結果については、別途、報告書としてまとめました。

実施期間：平成25年11月5日から11月29日

3 意見交換会等の開催

(1) 市内主要障がい者団体との意見交換

身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）及び難病の主な団体と、合計3回、意見交換会を行いました。

(2) 市民懇談会の開催

障がい者保健福祉計画の新規分野となる安全・安心や差別の解消・権利擁護などのテーマを中心に、広く市民を対象として

こんだんかい かいさい
懇談会を開催しました。

さんこう かいぎとう けんとう けいか
(参考1) 会議等における検討の経過

へいせい ねん がつ 平成25年 8月	さっぽろししょう しゃしさくすいしんしんぎかい 札幌市 障がい者施策推進審議会 (改定の概要、実態調査実施概要等)
がつ 9月	さっぽろしじりつしえんきょうぎかいうんえいかいぎ 札幌市自立支援協議会運営会議 (改定の概要、実態調査実施概要等)
がつ 10月	さっぽろしせいしんほけんふくししんぎかい 札幌市精神保健福祉審議会 (改定の概要、実態調査実施概要等)
がつ 11月	しょう じしゃじつたいとうちょうさ ちょうさ 障がい児者実態等調査 (アンケート調査) さっぽろしじりつしえんきょうぎかい かいてい がいようとう 札幌市自立支援協議会 (改定の概要等)
へいせい ねん がつ 平成26年 3月	さっぽろししょう しゃしさくすいしんしんぎかい さっぽろしせいしん 札幌市 障がい者施策推進審議会・札幌市精神 ほけんふくししんぎかい さっぽろしじりつしえんきょうぎかい 保健福祉審議会・札幌市自立支援協議会 (計画の構成、改定スケジュール等)
がつ 6月	しょう ぶくししさく かか けいかくけんとうかいぎ 障がい福祉施策に係る計画検討会議 (計画の構成、市民意見の聴取方法、作業スケジュール)
がつ 7月	しょう しゃほけんふくしふかいさぎょういいんかい ちょうないかいぎ 障がい者保健福祉部会作業委員会【庁内会議】 (改定の概要、計画の構成、基本施策等について)
がつ 8月	しょう ぶくししさく かか けいかくけんとうかいぎ 障がい福祉施策に係る計画検討会議 (計画の構成、基本施策等について) さっぽろしじりつしえんきょうぎかいうんえいかいぎ 札幌市自立支援協議会運営会議 (計画の構成、基本施策等について)

9月 しょう ふうししさく かか けいかくけんとうかいぎ
障がい福祉施策に係る計画検討会議・
さっぽろしじりつしえんきょうぎかい
札幌市自立支援協議会

きほんしさく せいかもくひょうとう
(基本施策、成果目標等について)

10月 しょう ふうししさく かか けいかくけんとうかいぎ
障がい福祉施策に係る計画検討会議

せいかもくひょう しょうがいふくし みこみりょう
(成果目標、障害福祉サービスの見込量について)

11月 さっぽろししょう しゃしさくすいしんしんぎかい
札幌市障がい者施策推進審議会・

さっぽろしせいしんほけんふくししんぎかい
札幌市精神保健福祉審議会

けいかくあん
(計画案について)

しょう しゃほけんふくしふかい ちょうないかいぎ
障がい者保健福祉部会【庁内会議】

けいかくあん けんとう
(計画案の検討)

保健福祉施策総合推進本部・企画調整会議【庁

内会議】けいかくあん けんとう
(計画案の検討)

12月

へいせい ねん 平成27年 1月

2月

3月

さんこう さっぽろし しょう ふくししきく か かけいかくけんとうかいぎ いいんめいぼ
 (参考2) 札幌市の障がい福祉施策に係る計画検討会議 委員名簿

	しめい 氏名	しよぞくだんたいとう 所属団体等
1	あさか ひろふみ 浅香 博文	さっぽろししんたいししょうがいしゃふくしきょうかいかいちょう 札幌市身体障害者福祉協会会長
2	うえだ マリ子 上田 マリ子	にっぽんはったつしょうがいねっとわーくほっかいどうかいちょう 日本発達障害ネットワーク北海道会長
3	おかもと なおき 岡本 直樹	ぜんこくじゅうどししょうがいしゃそうだんしえんぶかい 全国重度障害者相談支援部会
4	きたがわ さとこ 北川 聡子	しゃかいふくしほうじんむぎこかいそうごうしせつちよう 社会福祉法人麦の子会総合施設長
5	しげいすみ としまさ 重泉 敏聖	しゅうぎょうせいかつおうえんぶらざとねっとせんたーちよう 就業・生活応援プラザとねっとセンター長
6	しんぼり みつこ 新堀 光子	ほっかいどうなんびょうれんじぎょういいん 北海道難病連事業委員
7	すぎた まこと 杉田 誠	そうだんしつかんりしゃ 相談室こころていね管理者
8	なすの ゆたか 奈須野 益	さっぽろしていくせいはいかいちょう 札幌市手をつなぐ育成会会長
9	ほそかわ うしお 細川 潮	さっぽろしせいしんしょうがいはいふくしゃくらぶれんごうかい 札幌市精神障害回復者クラブ連合会
10	まつだ やすこ 松田 靖子	さっぽろかい 札幌みんなの会
11	よしだ せつこ 吉田 節子	さっぽろしせいしんしょうがいしゃかぞくれんごうかいせんむりじ 札幌市精神障害者家族連合会専務理事

だい しょう しりょうへん
第7章 資料編

しょう しゃ じ すう
1 障がい者(児)数

しんたいしょう ちてきしょう
(1) 身体障がい・知的障がい

にん
(人、%)

	じんこう 人口	しんたいしょう じ しゃ 身体障がい児・者		ちてきしょう じ しゃ 知的障がい児・者	
		てちょうしょじしゃすう 手帳所持者数	たいじんこうひ 対人口比	てちょうしょじしゃすう 手帳所持者数	たいじんこうひ 対人口比
ちゅうおう 中央	231,363	8,426	3.6	1,191	0.5
きた 北	282,053	12,401	4.4	2,241	0.8
ひがし 東	258,883	11,949	4.6	2,269	0.9
しろいし 白石	208,402	9,166	4.4	1,879	0.9
あつべつ 厚別	128,115	5,839	4.6	1,065	0.8
とよひら 豊平	217,090	8,947	4.1	1,540	0.7
きよた 清田	116,287	4,586	3.9	810	0.7
みなみ 南	142,023	7,317	5.2	1,180	0.8
にし 西	211,746	9,369	4.4	1,824	0.9
ていね 手稲	140,677	6,412	4.6	1,178	0.8
そうすう 総数	1,936,639	84,412	4.4	15,177	0.8

じんこう へいせい ねん がつ にちげんざい
※人口：平成26年4月1日現在

た へいせい ねん どもまつげんざい
※その他：平成25年度末現在

せいしんしょう
(2) 精神障がい

にん
 (人、%)

	じんこう 人口	てちょうしょじしやすう 手帳所持者数	たいじんこうひ 対人口比	じりつしえんいりよう 自立支援医療 じゆきゆうしやすう 受給者数	たいじんこうひ 対人口比
ちゆうおう 中央	231,363	2,557	1.1	4,071	1.8
きた 北	282,053	3,104	1.1	5,474	1.9
ひがし 東	258,883	3,001	1.2	5,377	2.1
しろいし 白石	208,402	2,652	1.3	4,718	2.3
あつべつ 厚別	128,115	1,376	1.1	2,470	1.9
とよひら 豊平	217,090	2,418	1.1	4,089	1.9
きよた 清田	116,287	885	0.8	1,604	1.4
みなみ 南	142,023	1,622	1.1	2,551	1.8
にし 西	211,746	2,417	1.1	4,637	2.2
ていね 手稲	140,677	1,387	1.0	2,660	1.9
そうすう 総数	1,936,639	21,419	1.1	37,651	1.9

じんこう へいせい ねん がつ にちげんざい
 ※人口：平成26年4月1日現在

た へいせい ねん どまつげんざい
 ※その他：平成25年度末現在

(3) 身体障がい・障がい等級別

(人、%)

	H23		H24		H25	
	にんすう 人数	こうせいひ 構成比	にんすう 人数	こうせいひ 構成比	にんすう 人数	こうせいひ 構成比
1級 ^{きゅう}	28,780	35.3	28,979	34.7	29,125	34.5
2級 ^{きゅう}	14,205	17.4	14,097	17.0	14,107	16.7
3級 ^{きゅう}	12,005	14.7	12,314	14.9	12,592	14.9
4級 ^{きゅう}	18,380	22.5	19,312	23.3	20,340	24.1
5級 ^{きゅう}	4,538	5.6	4,463	5.4	4,544	5.4
6級 ^{きゅう}	3,722	4.6	3,687	4.5	3,704	4.4
ごうけい 合計	81,630	100.0	82,852	100.0	84,412	100.0

※各年度末現在数

(4) 身体障がい・障がい区分別

(人)

	H23	H24	H25
しかくしょう 視覚障がい	4,550	4,532	4,540
ちょうかく へいこうきのうしょう 聴覚・平衡機能障がい	5,381	5,326	5,296
ちょうかく 聴覚	5,313	5,257	5,226
へいこうきのう 平衡機能	68	69	70
おんせい げんご きのうしょう 音声・言語・そしゃく機能障がい	833	817	810
したいふじゆう 肢体不自由	47,642	48,468	49,647
じょうし 上肢	16,667	16,470	16,351
かし 下肢	25,334	26,471	27,875
たいかん 体幹	5,641	5,527	5,421
にゅうようじきいぜん ひしんこうせい のう 乳幼児期以前の非進行性の脳 びょうへん うんどうきのうしょう 病変による運動機能障がい	326	335	335
じょうしきのう 上肢機能	190	193	190
いどうきのう 移動機能	136	142	145
ないぶしょう 内部障がい	22,898	23,374	23,784
しんぞうきのう 心臓機能	12,836	13,197	13,543
ぞうきのう じん臓機能	5,379	5,486	5,547
こきゅうききのう 呼吸器機能	1,620	1,620	1,486
ぼうこう ちよくちょうきのう ぼうこう・直腸機能	2,681	2,760	2,777
しょうちょうきのう 小腸機能	138	140	145
めんえききのう 免疫機能	149	169	186
かんぞうきのう 肝臓機能	95	94	100
ごうけい 合計	81,630	82,852	84,412

※各年度末現在数

りょういくてちょうしょじしやすう
(5) 療育手帳所持者数

にん
 (人、%)

	H23		H24		H25	
	にんすう 人数	こうせいひ 構成比	にんすう 人数	こうせいひ 構成比	にんすう 人数	こうせいひ 構成比
A (じゅうど 重度)	5,226	38.7	5,359	37.3	5,467	36.0
B (ちゅうど 中度)	3,357	24.9	3,466	24.1	3,578	23.6
B- (けいど 軽度)	4,922	36.4	5,541	38.6	6,132	40.4
ごうけい 合計	13,505	100.0	14,366	100.0	15,177	100.0

かくねん どまつげんざいすう
 ※各年度末現在数

せいしんしょう しやてちょうしょじしやすう
(6) 精神障がい者手帳所持者数

にん
 (人、%)

	H23		H24		H25	
	にんすう 人数	こうせいひ 構成比	にんすう 人数	こうせいひ 構成比	にんすう 人数	こうせいひ 構成比
1 級 (きゅう)	1,149	6.4	1,240	6.4	1,331	6.2
2 級 (きゅう)	10,130	56.8	10,820	55.7	11,615	54.2
3 級 (きゅう)	6,569	36.8	7,345	37.9	8,473	39.6
ごうけい 合計	17,848	100.0	19,405	100.0	21,419	100.0

かくねん どまつげんざいすう
 ※各年度末現在数

じりつしえんいりょう せいしんつういんいりょう じゆきゆうしやすう
(7) 自立支援医療（精神通院医療）受給者数
 (人)

	H23	H24	H25
じゆきゆうしやすう 受給者数	33,398	35,573	37,651

かくねん とまつげんざいすう
 ※各年度末現在数

じぎょうしよすう
2 事業所数

きよじゆうけい さーびす
(1) 居住系サービス

	H24	H25	H26
きよたくかいご 居宅介護	406	436	469
じゆうどほうもんかいご 重度訪問介護	401	430	461
じゆうどしょうがいしやとうほうかつしえん 重度障害者等包括支援	1	2	2
こうどうえんご 行動援護	53	83	104
どうこうえんご 同行援護	218	242	259
さんこう いどうしえん (参考) 移動支援	385	409	411

かくねん がつ にちげんざいすう
 ※各年4月1日現在数

にっちゅうかつどうけいさーびす
(2) 日中活動系サービス

		H24	H25	H26
りょうようかいご 療養介護	じぎょうしょすう 事業所数	3	3	3
	ていいん 定員	376	376	376
せいかつかいご 生活介護	じぎょうしょすう 事業所数	103	109	115
	ていいん 定員	3,054	3,158	3,312
じりつくんれん (きのうくんれん) 自立訓練 (機能訓練)	じぎょうしょすう 事業所数	0	0	0
	ていいん 定員	0	0	0
じりつくんれん (せいかつかんれん) 自立訓練 (生活訓練)	じぎょうしょすう 事業所数	14	19	19
	ていいん 定員	159	210	210
しゅうろういこうしえん 就労移行支援	じぎょうしょすう 事業所数	38	46	51
	ていいん 定員	474	578	655
しゅうろうけいぞくしえん (がた) 就労継続支援 (A型)	じぎょうしょすう 事業所数	46	58	73
	ていいん 定員	887	1,153	1,500
しゅうろうけいぞくしえん (がた) 就労継続支援 (B型)	じぎょうしょすう 事業所数	134	167	182
	ていいん 定員	2,649	3,252	3,487
たんきにゅうしょ 短期入所	じぎょうしょすう 事業所数	50	53	57
	ていいん 定員	240+	226+	205+
さんこう (にっちゅういちじしえん) (参考) 日中一時支援	じぎょうしょすう 事業所数	68	65	68
	ていいん 定員	533	514	573
さんこう (ちいきかつどうしえんせんたー) (参考) 地域活動支援センター	じぎょうしょすう 事業所数	61	54	55
	ていいん 定員	1,038	883	929

※各年4月1日現在数。短期入所の定員の「+」は、空床対応の事業所を指す(定員の定めなし。)

きょじゅうけいさーびす
(3) 居住系サービス

		H24	H25	H26
きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	じぎょうしょすう 事業所数	333	365	390
	ていいん 定員	1,918	2,079	2,156
しせつにゆうしょしえん 施設入所支援	じぎょうしょすう 事業所数	29	29	29
	ていいん 定員	1,371	1,371	1,371

かくねん がつ にちげんざいすう
 ※各年4月1日現在数

しょうがいじつうしょしえん
(4) 障害児通所支援

		H24	H25	H26
じどうはったつしえん 児童発達支援	じぎょうしょすう 事業所数	149	143	180
	ていいん 定員	1,705	1,611	2,001
いりょうがたじどうはったつしえん 医療型児童発達支援	じぎょうしょすう 事業所数	3	3	3
	ていいん 定員	100	100	100
ほうかごとうでいさーびす 放課後等デイサービス	じぎょうしょすう 事業所数	145	146	196
	ていいん 定員	1,533	1,535	2,069
ほいくしょうほうもんしえん 保育所等訪問支援	じぎょうしょすう 事業所数	10	13	13

かくねん がつ にちげんざいすう
 ※各年4月1日現在数

3 プランの進捗状況（主なもの）

平成25年度における実績を中心に、分野ごとに整理しております。

分野1 理解促進

◆ 障害者週間記念事業

- 該当PR：各区役所周辺、駅前通地下歩行空間にて、計5,500個の製品を配布。
- あんま・マッサージ治療の無料奉仕を100人に実施。
- 啓発ポスターの掲示
- このほか関連事業として、元気ショップ7周年記念イベント、特例子会社フェア、障がいのある方による講演会などを実施。

◆ 障がい当事者の講師派遣

障がい当事者を対象として講師養成研修を実施したうえで、当該研修修了者を講師として登録し、学校や企業、各種団体が開催する研修会等の講師として派遣しています。

- 講師養成・登録数 13人
- 講師派遣回数 80回
- 講師派遣延べ人数 123人
- 聴講者延べ人数 3,732人

◆ ボランティア振興事業

ボランティア活動の普及啓発・相談・登録・受給調整のほか、ボランティア活動機材の貸出し、人材養成のための研修等を行って

います。

- 年間研修数 293講座
- 受講人数 10,643人
- 貸室利用件数 1,035件

分野2 生活支援

◆ 相談支援事業の充実・関係機関の連携体制の強化

障がいのある方が地域で安心して生活することができるよう、相談支援事業の充実と、関係機関の連携による相談支援体制の強化を図ります。各種事業の実施にあたっては、自立支援協議会を中心とした関係機関相互の連携体制の強化を図り、適切な支援を提供します。

- 障がい者相談支援事業

平成25年7月に基幹相談支援センターを新設し、合計19か所。相談支援件数54,193件、平成25年度末登録者数4,809件。

また、「地域支援員」を3区3か所の相談支援事業所に合計3名を配置。

◆ 障がいのある方に対する権利擁護、虐待防止対策の推進

障がい者あんしん相談運営事業、成年後見制度利用支援事業、及び障がい者虐待に関する相談窓口を開設しています。

<利用件数>

- 障がい者あんしん相談運営事業 1,985件
- 成年後見制度利用支援事業 市長申立件数 4件
- 障がい者虐待相談事業等での相談・通報件数 87件

◆福祉サービス提供事業者等に対する研修の実施

居宅介護事業所のサービス提供責任者等を対象、利用者の立場に立った本人中心の個別支援計画作成のあり方について研修を行いました。

- ・基礎研修 全3回 91人参加
- ・応用研修 29人参加

分野3 保健・医療

◆乳幼児健康診査

・4か月児健診

受診者数 実人数14,465人 延人数14,711人

・1歳6か月児健診

受診者数 実人数14,106人 延人数14,290人

・3歳児健診

受診者数 実人数13,945人 延人数14,104人

◆自立支援医療

・育成医療 給付件数 1,931件

・更生医療 給付件数 39,666件

・精神通院医療 給付件数 667,261件

分野4 生活環境

◆優しさと思いやりのバリアフリーの推進

「公共施設のバリアフリーチェックシステム」及び「危険施設等通報システム」の運用を開始しています。

- しろいしくふくごうちょうしゃなどせいびじぎょう じえいあーあつべつえきじゆうつうろ ばり あ ぶり
 ・白石区複合庁舎等整備事業、J R 厚別駅自由通路バリアフリ
 ーせいび ばりあぶりーちえっく じっし
 ー整備のバリアフリーチェックを実施

◆地下鉄における安全対策

平成24年度末までに、地下鉄南北線全駅に可動式ホーム柵を
 設置しました。平成28年度末までに東豊線全駅に設置する予定で
 す。

◆札幌市地域防災計画における要援護者対策

「札幌市避難場所基本計画」を平成25年3月に策定しました。
 市立小中学校について、大規模改修・改築に併せ、玄関スロー
 プと車いす対応トイレの設置や、車いす対応トイレの無い学校
 への身障者用便座の備蓄、校舎1階の指定場所を災害要援護用と
 して優先的に提供することなどを計画に盛り込みました。
 また、避難場所基本計画の実現に向け、具体的なスケジュール等
 を定めた「札幌市避難場所基本計画実施プラン」を平成26年3月に
 策定しました。

分野5 教育・育成

◆私立幼稚園特別支援教育事業

私立幼稚園で特別な教育的支援を必要とする幼児の円滑な受
 け入れを促進するため、市立幼稚園の幼児教育支援員が私立幼稚
 園を訪問し、個別の指導計画の作成支援や教育相談を行うとと
 もに、特別支援担当者向け研修会を実施しています。

- ・幼稚園訪問支援件数 792件

- 研修会参加人数 807人 実施回数 5回

◆一人一人が学び育つための教育的支援の充実

- 特別支援教育支援員（学びのサポーター）活用事業
活用校数 255校
- 学びの手帳配布
配布数 1,251冊

◆地域で学び育つための教育環境の整備

子どものニーズに応じた適切な教育が受けられるよう、市立中学校への特別支援学級の設置を推進し、地域での特別支援教育の充実を図る。

- 特別支援学級開設状況
小学校 18校 20学級 中学校 7校 8学級

分野6 雇用・就労

◆就労相談支援体制の充実（障がい者就業・生活相談支援事業）

障がいのある方の雇用の促進と就労の安定を図るため、就業や日常生活の支援を行うとともに、ハローワーク等の関係機関と連携して、ジョブサポーターや支援員による雇用促進・職場定着支援を図ります。

- 委託事業所 4か所 ジョブサポーター 3名配置
- 登録者数 1,575人、相談件数 29,868件
就職に結びついた件数 180人

◆ 障がい者協働事業

- 補助対象事業所 15 か所 障がい者雇用数 88人

◆ 製品の販路拡大支援

障がいのある方が施設等で作った製品を販売する常設店舗として元気ショップを設置運営し、製品の購入を通じた市民の障がいに対する理解促進と障がいのある方の工賃増額を目指します。

- 元気ショップ：売上59,702千円、来客数112,158人
- 元気ショップいこ～る：売上24,924円、来客数29,548人

分野7 情報・コミュニケーション

◆ 障害福祉サービス事業所等に関する空き情報の紹介

札幌市内の各障害福祉サービス事業所等が自事業所の空き情報を掲載し、随時更新できるホームページを開設することにより、利用者が利用可能な事業所を探す際の時間を短縮し、利便性の向上を図ります。

- 登録事業者数 2,923件
- うち、空き情報の入力件数 985件

分野8 スポーツ・文化

◆ 障がい者スポーツ大会の開催

障がいのある方がスポーツを通じて、体力の向上や自立更生への意欲を高め、市民の理解促進を図ることを目的として開催しています。

4 第3期障がい福祉計画における数値目標・サービス見込量の進捗状況

(1) 数値目標

項目	数値目標	25年度実績	進捗率
入所施設の入所者の地域生活への移行者数	760人	594人	78.2%
入所施設の入所者数の減少見込数	420人	369人	87.9%
福祉施設から一般就労への移行者数	200人	405人	202.5%
福祉施設利用者のうち、就労移行支援事業の利用者数(割合)	510人 (5%)	630人 (6.1%)	123.5%
就労継続支援事業の利用者のうち、就労継続支援A型事業の利用者数(割合)	1,080人 (25%)	1,393人 (27.4%)	129.0%
入院中の精神障がい者の地域移行支援の利用者数	30人	4人	13.3%
障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がいのある人の割合	50%	53.4%	—
障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う人の割合	50%	22.7%	—

ほうもんけい きょじゅうけい そうだん さーびす
(2) 訪問系・居住系・相談サービス

サービス種別		たんい 単位	ねんど 24年度	ねんど 25年度
訪問系(ほうもんけい)	きょたくかいご 居宅介護	りょうにんずう 利用人数	3,112	3,239
		じかん つき 時間/月	61,654	64,083
	じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護	りょうにんずう 利用人数	270	292
		じかん つき 時間/月	61,891	71,981
	じゅうどしょうがいしゃほうほうかつしえん 重度障害者等包括支援	りょうにんずう 利用人数	1	1
		じかん つき 時間/月	638	69
	こうどうえんご 行動援護	にんずう 人数	381	549
		じかん つき 時間/月	6,819	9,647
どうこうえんご 同行援護	にんずう 人数	399	426	
	じかん つき 時間/月	7,932	8,559	
居住系(きょじゅうけい)	きょうどうせいかつかいご 共同生活介護 きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	にん つき 人/月	2,029	2,201
		しせつにゆうしょしえん 施設入所支援	にん つき 人/月	2,180
相談系(そうだん)	けいかくそうだんしえん 計画相談支援	にん 人	95	218
	ちいきいこうしえん 地域移行支援	にん つき 人/月	6	5
	ちいきていちやくしえん 地域定着支援	にん つき 人/月	12	16

にっちゅうかつどうけい さーびす
(3) 日中活動系サービス

サービス種別		たんい 単位	ねんど 24年度	ねんど 25年度
日中活動系(にっちゅうかつどうけい)	りょうようかいご 療養介護	りょうにんずう 利用人数	297	298
	せいかつかいご 生活介護	にんずう 人数	4,411	4,538
		にんにち つき 人日/月	85,360	88,247
	じりつくんれん きのうくんれん 自立訓練 (機能訓練)	りょうにんずう 利用人数	6	1
		にんにち つき 人日/月	130	31
	じりつくんれん せいかつくんれん 自立訓練 (生活訓練)	りょうにんずう 利用人数	159	152
		にんにち つき 人日/月	3,457	2,318
	しゅうろういこうしえん 就労移行支援	りょうにんずう 利用人数	540	630
		にんにち つき 人日/月	9,588	11,138
	しゅうろうけいぞくしえん えーがた 就労継続支援 (A型)	りょうにんずう 利用人数	1,005	1,393
		にんにち つき 人日/月	20,106	27,573
	しゅうろうけいぞくしえん びーがた 就労継続支援 (B型)	りょうにんずう 利用人数	3,199	3,677
にんにち つき 人日/月		55,784	63,259	
たんきにゅうしょ 短期入所	りょうにんずう 利用人数	543	591	
	にんにち つき 人日/月	4,328	4,573	

ちいきせいかつしえんじぎょう ひっすじぎょう
(4) 地域生活支援事業 (必須事業)

	たんい 単位	ねんど 24年度	ねんど 25年度
そうだんしえんじぎょう 相談支援事業			
そうだんしえんじぎょう 相談支援事業			
しょう しゃそうだんしえんじぎょう 障がい者相談支援事業	かしょすう 箇所数	18	19
しょう じとりょういくしえんじぎょう 障がい児等療育支援事業	かしょすう 箇所数	6	5
じりつしえんきょうぎかい 自立支援協議会	かしょすう 箇所数	1	1
じゅうたくにゆうきょうしえんじぎょう 住宅入居等支援事業	かしょすう 箇所数	18	19
せいねんこうけんせいでりようしえんじぎょう 成年後見制度利用支援事業	かしょすう 箇所数	1	1
こみゆにけーしょんしえんじぎょう コミュニケーション支援事業			
しゅわつうやくしゃはけんじぎょう 手話通訳者派遣事業	りょうにんすう 利用人数	495	432
	の にんすう 延べ人数	6,540	5,084
しゅわつうやくち じじぎょう 手話通訳設置事業	かしょすう 箇所数	1	1
	つうやくしゃすう 通訳者数	58	62
ようやくひっきほうしいんはけんじぎょう 要約筆記奉仕員派遣事業	りょうにんすう 利用人数	83	75
	の にんすう 延べ人数	842	834
にちじょうせいかつようぐきゅうふじぎょう 日常生活用具給付事業			
かいご くんれんしえんようぐ 介護・訓練支援用具	きゅうふけんすう 給付件数	134	154
じりつせいかつしえんようぐ 自立生活支援用具	きゅうふけんすう 給付件数	901	824
ざいたくりょうごとうしえんようぐ 在宅療護等支援用具	きゅうふけんすう 給付件数	415	475
じょうほう い しそつうしえんようぐ 情報・意思疎通支援用具	きゅうふけんすう 給付件数	392	446
はいせつかんりしえんようぐ 排泄管理支援用具	きゅうふけんすう 給付件数	29,971	30,650
きょたくせいかつどうさほじょようぐ 居宅生活動作補助用具	きゅうふけんすう 給付件数	104	99

		たんい 単位	ねんど 24年度	ねんど 25年度
いどうしえん 移動支援				
	こべつしえんがた 個別支援型	かしょすう 箇所数	396	404
		にんすう 人数	3,063	3,187
		のじかんすう 延べ時間数	351,923	367,133
	しゃりょういそうがた 車両移送型	のにんすう 延べ人数	6,327	7,204
ちいきかつどうしえんせんたー 地域活動支援センター				
	きそてきじぎょう 基礎的事業	かしょすう 箇所数	61	54
		りょうにんすう 利用人数	726	656
	きのうきょうかじぎょう 機能強化事業	かしょすう 箇所数	45	41

ちいきせいかつしえんじぎょう にんいじぎょう
(5) 地域生活支援事業 (任意事業)

	たんい 単位	ねんど 24年度	ねんど 25年度
ふくしほ - む 福祉ホーム	ていいん 定員	42	42
しんたいしょうがいしゃにゆうよくさ - び す じぎょう 身体障害者入浴サービス事業	りょうにんすう 利用人数	124	123
	の にんすう 延べ人数	3,864	3,386
きゅうしんたいしょうがいしゃじりつしえんじぎょうりょうしやしえんじぎょう 旧身体障害者自立支援事業利用者支援事業 (H19までは、身体障害者自立支援事業)	りょうにんすう 利用人数	6	6
せいかつしえんじぎょう 生活支援事業			
せいかつくねんとうじぎょう 生活訓練等事業			
ちょうかくしょう しやしゃかいせいかつきょうしつかいさいじぎょう 聴覚障がい者社会生活教室開催事業	の にんすう 延べ人数	975	945
おすとめいとしゃかいてきおうくねんじぎょう オストメイト社会適応訓練事業	の にんすう 延べ人数	178	228
おんせいきのうくねんじぎょう 音声機能訓練事業	の にんすう 延べ人数	733	661
てんじそくじじょうほうねっとわ - くじぎょう 点字即時情報ネットワーク事業	の にんすう 延べ人数	5,236	5,413
ちゅうどしつめいしゃしゃかいてきおうくねんじぎょう 中途失明者社会適応訓練事業	の にんすう 延べ人数	1,060	1,262
にっちゅういちじしえんじぎょう 日中一時支援事業	りょうにんすう 利用人数	914	871
	の にんすう 延べ人数	26,765	28,095

	たんに 単位	ねんど 24年度	ねんど 25年度
しゃかいさんかそくしんじぎょう 社会参加促進事業			
すほつ れくりえーしょんきょうしつかいさいとうじぎょう スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	の にんずう 延べ人数	671	501
てんじ こえ こうほうとうはっこうじぎょう 点字・声の広報等発行事業	りょうにんずう 利用人数	670	690
ほうしいんようせいけんしゅうじぎょう 奉仕員養成研修事業			
しゅわほうしいんようせいじぎょう 手話奉仕員養成事業	にんずう 人数	261	241
ようやくひつきほうしいんようせいじぎょう 要約筆記奉仕員養成事業	にんずう 人数	5	62
てんやくろうどくほうしいんようせいじぎょう 点訳朗読奉仕員養成事業	の にんずう 延べ人数	462	733
じどうしゃうんてんめんきよとく かいぞうほじょじぎょう 自動車運転免許取得・改造補助事業	りょうにんずう 利用人数	82	62
た しゃかいさんかそくしんじぎょう その他社会参加促進事業			
しょう しゃ そうだんらんえいじぎょう 障がい者あんしん相談運営事業	かしょすう 箇所数	1	1
しょう しゃあいていさほーとせんたーうんえいじぎょう 障がい者ITサポートセンター運営事業	かしょすう 箇所数	1	1
かみ さーびすじぎょう 紙おむつサービス事業	りょうにんずう 利用人数	1,471	1,506
	の にんずう 延べ人数	17,164	17,776
しんたいしょうがいしゃふくしでんわせっちじぎょう 身体障害者福祉電話設置事業	りょうにんずう 利用人数	47	40
もう しゃつうやく がいどへるばーはけんじぎょう 盲ろう者通訳・ガイドヘルパー派遣事業	りょうにんずう 利用人数	15	14
はったつしょうがいしゃしえんせんたーうんえいじぎょう 発達障害者支援センター運営事業	かしょすう 箇所数	1	1